

■狩野山雪 狩野派を逸脱する奇想の画家。突然投獄されて没し、狩野派の系譜からも姿を消した。

かのうさんせつ

秀吉全国統一1590＝ 肥前国で生まれる。

故あって父が大坂に移るのに従い、

幼時から絵が好きで、父が止めるのもきかずに専念、

前田利家没・1599＝ 9歳：

関ヶ原の戦い・1600＝10歳：

徳川家康隠居1605＝15歳： 父が死去するや、叔父の僧の世話で、狩野山楽に入門。

家康駿府退隠1607＝17歳：

・・・・・・1608＝18歳：

しだいに画才が認められ、

やがて師の長女の婿となり、狩野氏を名乗り、

師かつ岳父山楽の助手をつとめながら、磨きをかけて行く。

大坂夏の陣・1615＝25歳： この年、豊臣氏が滅亡すると、岳父山楽は豊臣方残党の嫌疑をかけられ、一時蟄居。

徳川家康没・1616＝26歳：

吉原遊郭始・1617＝27歳：

・・・・・・1618＝28歳： 岳父山楽の画壇復帰に従って、活動を再開、

桃山様式を拒否するかのような師とは異質な個性は早くから表れ、それを裏書するかのようには学問への造詣も深く、この間、藤原惺窩門下の林羅山・堀杏庵・那波活所ら一流の儒学者と親交。

人身売買禁止1626＝36歳：

紫衣事件・・・・1629＝39歳： この頃、*狩野探幽ら狩野派一門が中心となって制作した「当麻寺縁起」の一段を担当したのを皮切りに、

糸割符拡大・1631＝41歳： 岳父山楽を助けて「妙心寺天球院方丈壁画」を制作する頃には、その個性が鮮明となる。

徳川秀忠没・1632＝42歳： 上野忍岡に創設された林氏学問所のために、「歴聖大儒像」21幅を描き、

岳父山楽の実子が夭折していたこともあって、

参勤交替始・1635＝45歳： *山楽が死去すると、家督を継ぐが、本質的に断絶した画風を露わにするようになり、

島原の乱始・1637＝47歳： 清水寺に大作「繫馬図絵馬」を描き、

家光鎖国完成1641＝51歳：

明滅亡・・・・1644＝54歳：

・・・・・・1647＝57歳： *九条幸家の斡旋で、東福寺に伝わる明兆筆三十三観音像のうち2図を補作、その功で、法橋に叙せられる。この年、泉涌寺舍利殿に雄渾な天井画「雲龍図」を描くが、

突然罪を負って投獄され、

徳川家光没・1651＝61歳： *解かれぬまま、没した。狩野派の系譜からもほとんど姿を消してしまう。